

＜ お知らせ ＞

新型コロナウイルス感染症の札幌市内における感染状況を踏まえ、一般国道5号 創成川通に関する「計画説明会」の開催を中止することといたしました。

「計画説明会」において、説明予定の内容を以下のとおり、お知らせいたします。

令和3年9月 札幌市

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

一般国道5号 創成川通

計画説明会

日時: 令和3年8月31日、9月2日、9月8日

場所: カナモトホール(第1・2会議室)

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

- 1. 事業概要について**
- 2. 新規事業化までの経緯について**
- 3. 事業の内容について**
- 4. 事業の流れについて**

1. 事業概要について

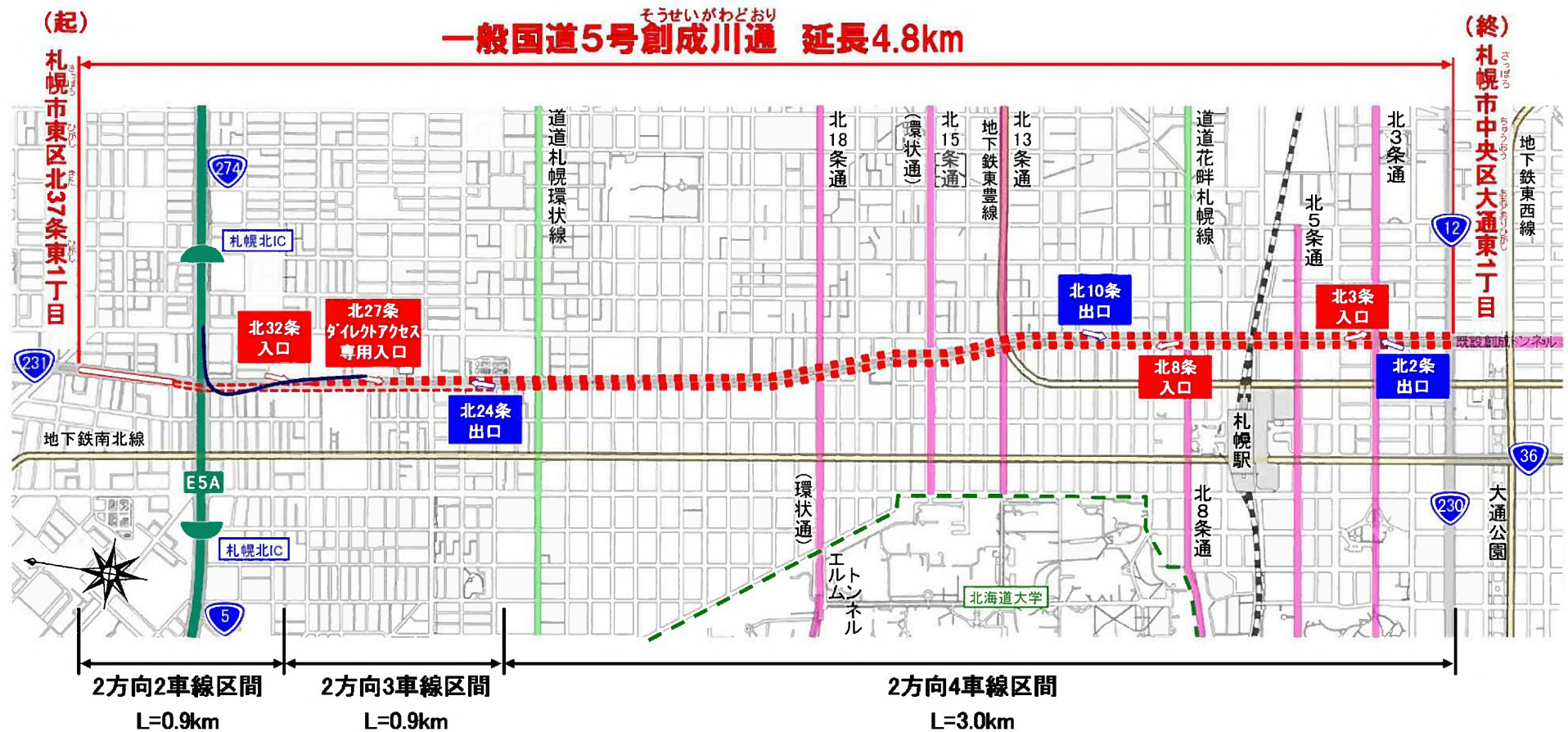
位置図

- 国道5号は、函館市を起点とし長万部町及び小樽市を経て、札幌市に至る延長約282kmの主要幹線道路であり、道南圏と道央圏を連絡する重要な幹線道路。
- 創成川通は、札幌都心部と札幌自動車道の区間を地下トンネルで結ぶ延長約4.8kmの事業。

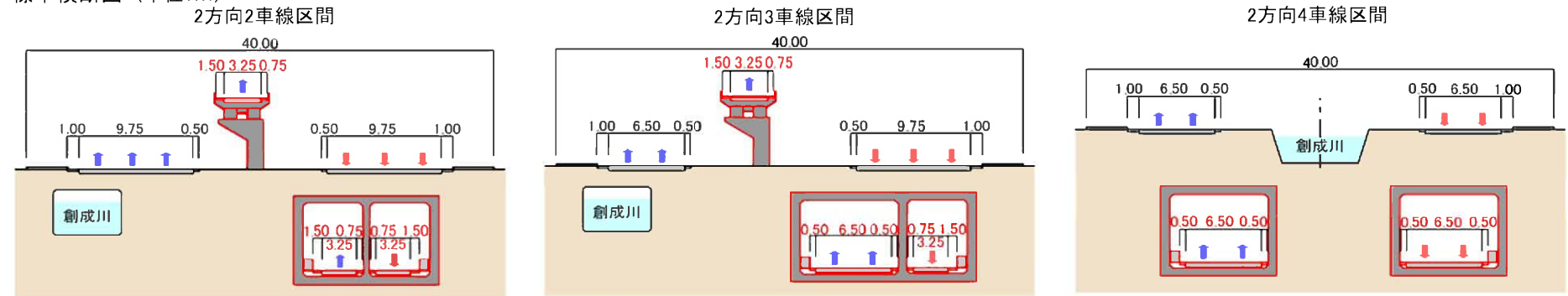
▼位置図



概要図



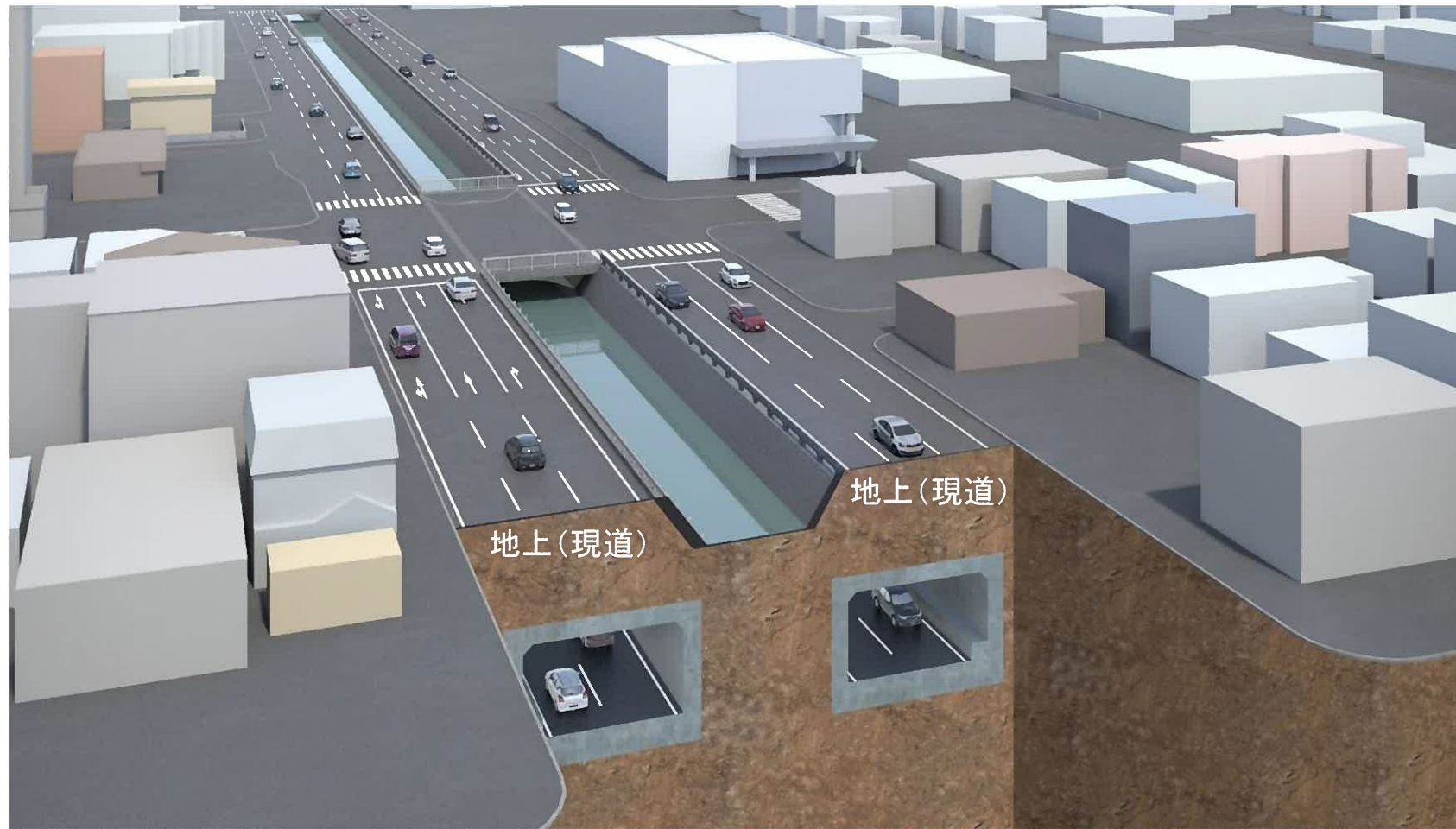
標準横断面図 (単位: m)



地下整備イメージ

一般国道5号 創成川通 地下整備イメージ

資料：オープンハウス（共同パネル展の資料）より

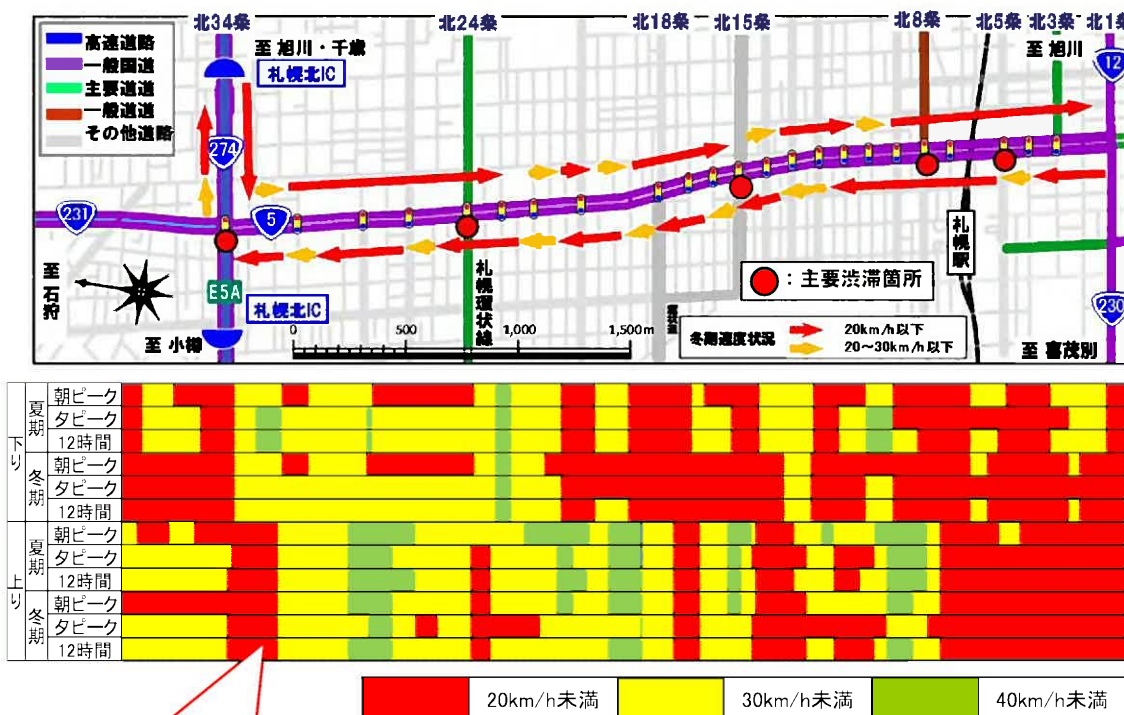


注) 整備の内容を分かりやすくするため現在の道路に構造物を分かりやすく表現したものであり、実際の整備時とは異なる場合があります。

現状の課題 《交通混雑》

- 札幌市中心部と高速道路を結ぶ国道5号創成川通では、速度低下や渋滞、所要時間のばらつきが発生しています。

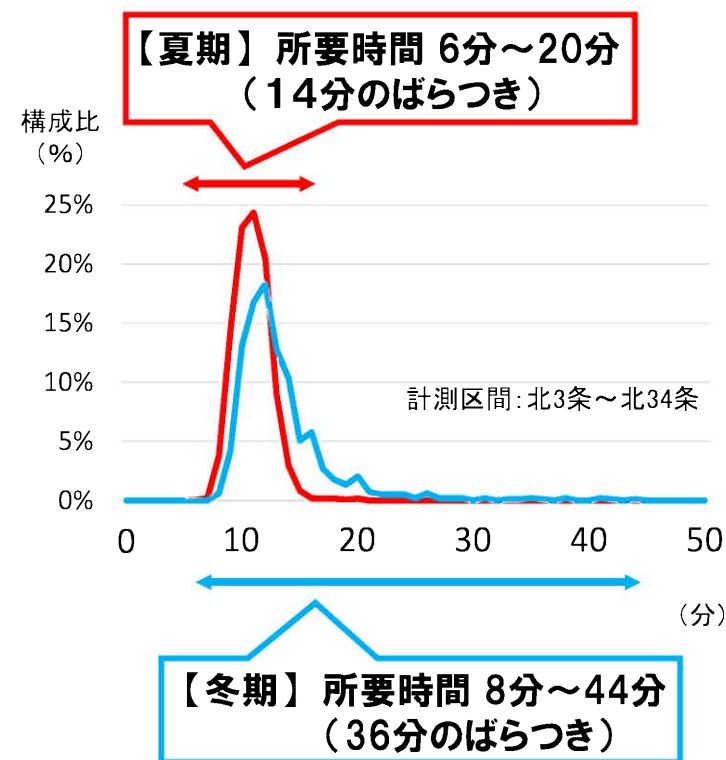
【国道5号の混雑状況】



朝・夕だけでなく、
日中も混雑・渋滞が発生

資料: ETC2.0データ(H28.4~R2.3)
(夏期: 4月~11月、冬期: 12月~3月)

【時間のばらつき】



資料: ETC2.0データ(H28.4~R2.3)
(夏期: 4月~11月、冬期: 12月~3月)

現状の課題 《交通混雑》

国道5号創成川通の混雑(夏期)

至 石狩



至 都心

現状の課題 《交通混雑》

国道5号創成川通の混雑(冬期)



至 都心

至 石狩

現状の課題 《交通混雑》

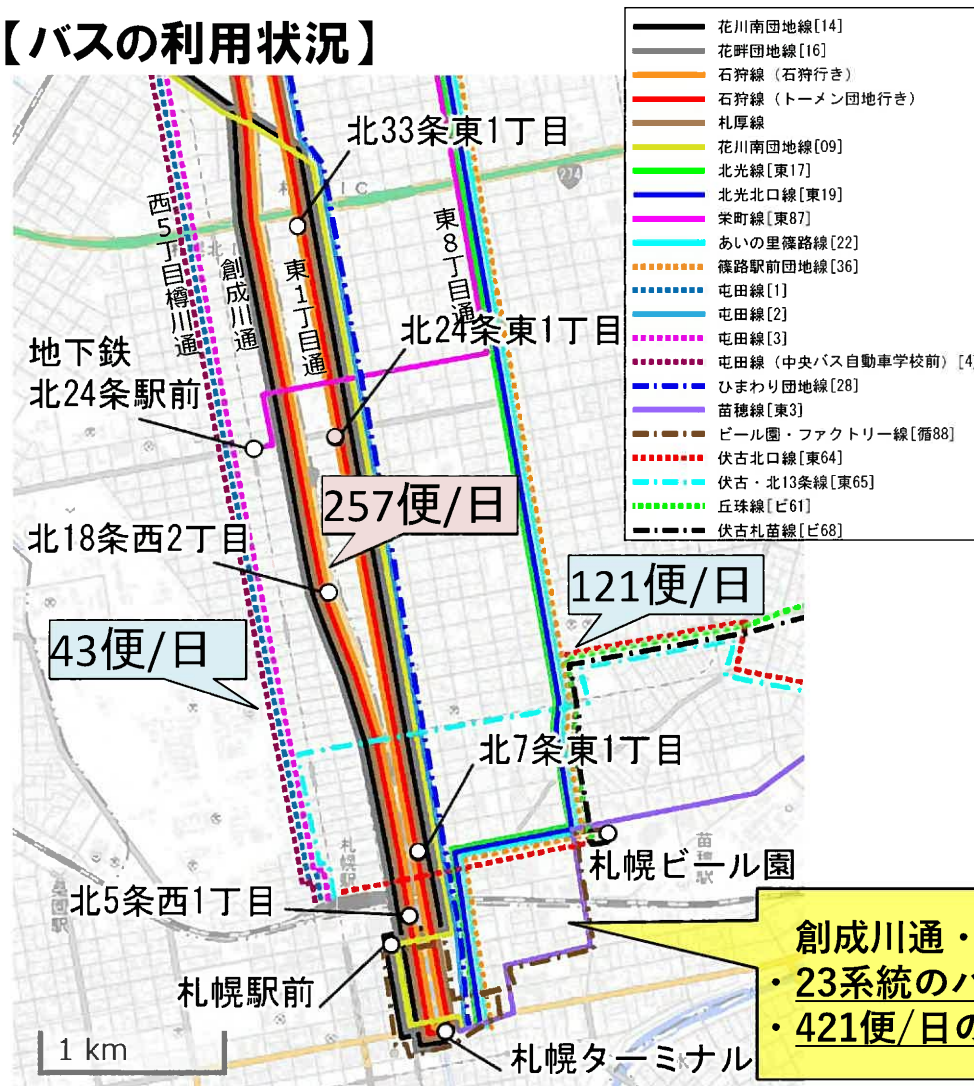
札幌北IC千歳方面からの出口(赤丸)と高速道路本線(右下の写真)の渋滞状況



現状の課題 《交通混雑》

- 創成川通や並行路線はバスの主要経路ですが、道路混雑により定時運行に支障が生じています。

【バスの利用状況】



創成川通

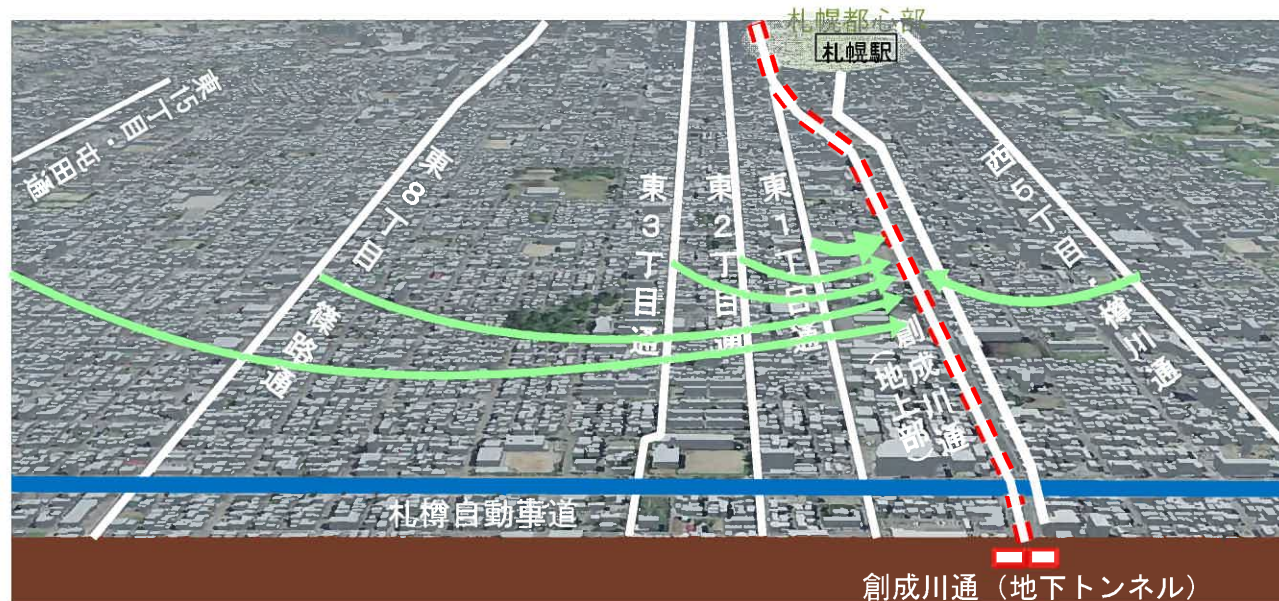


東8丁目通

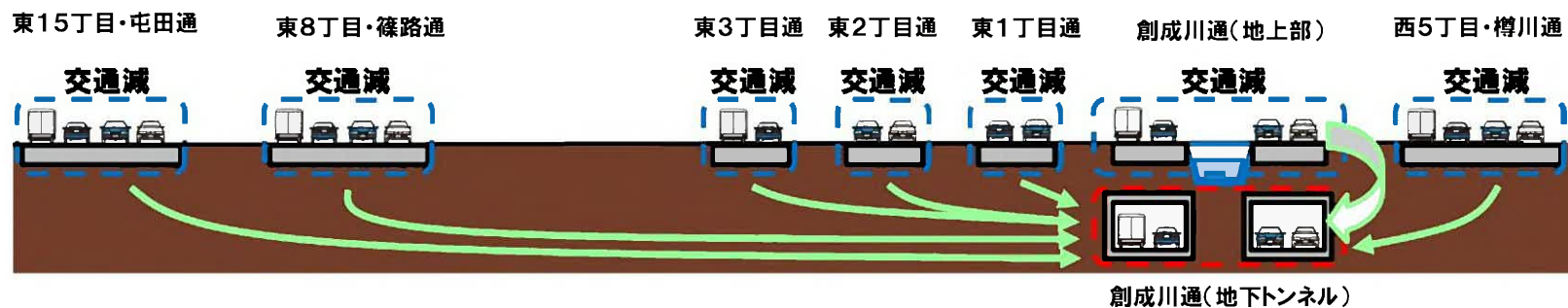
創成川通・並行路線で
・23系統のバスが運行
・421便/日のバスが通過

期待される効果 《交通混雑》

- 創成川通の地下トンネル整備により、創成川通(地上部)や周辺道路の混雑が改善されます。



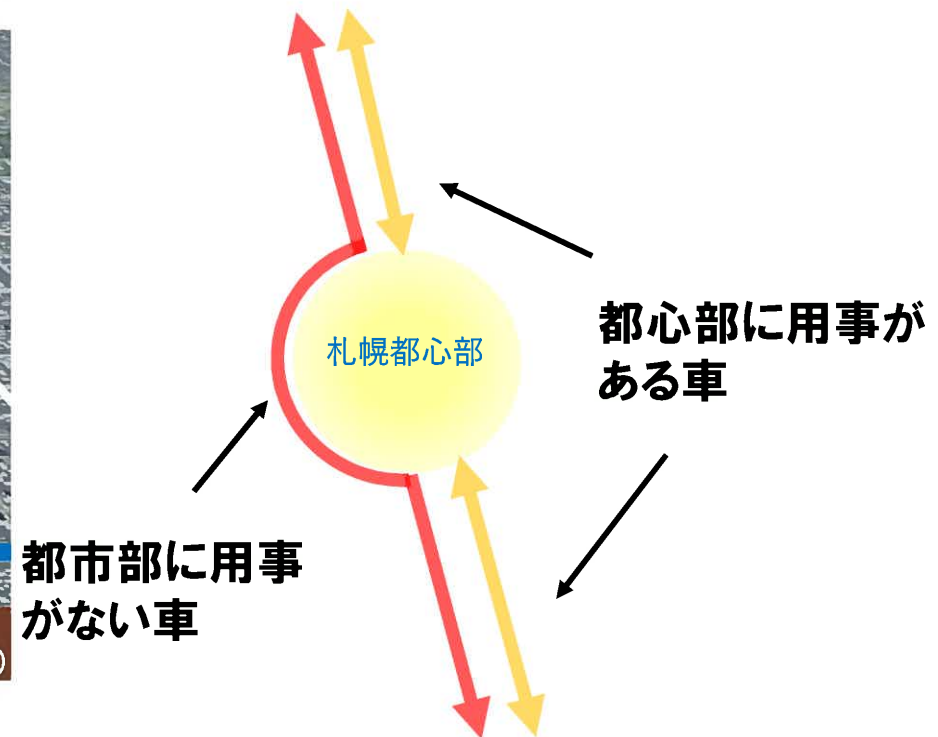
【事例:北18条付近】



期待される効果 《交通混雑》

- 混雑の改善や道路の役割分担により、所要時間のばらつきが解消されます。

【道路の役割分担】



【所要時間のばらつきの解消】

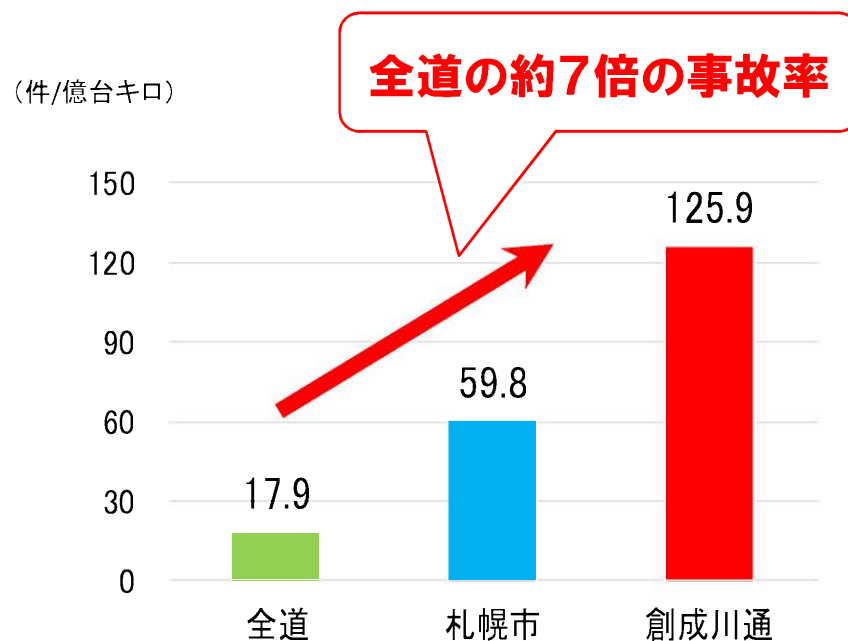
夏期：所要時間 現況6分～20分（14分のばらつき）→ ※整備後 6分～11分（5分のばらつき）
冬期：所要時間 現況8分～44分（36分のばらつき）→ ※整備後 8分～14分（6分のばらつき）

※地下部は、整備後の条件に近い既設創成トンネルのETC2.0データ(H28.4～R2.3)の標準偏差を算出し、試算

現状の課題 《交通事故》

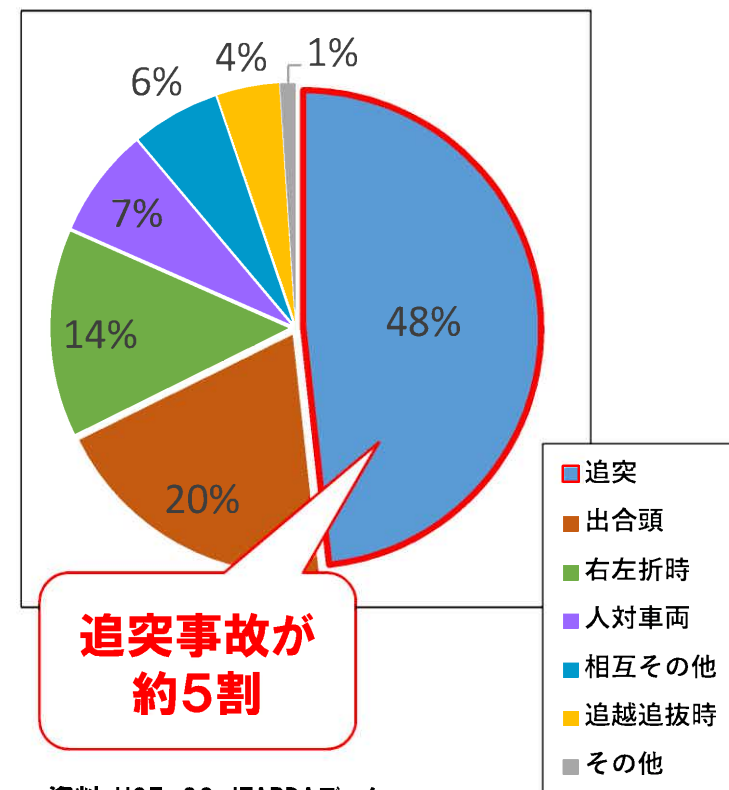
- 創成川通は、死傷事故率※が全道平均の約7倍です。
- 特に、交差点付近での追突事故が最も多く、全体の約半数を占めています。

【死傷事故率※の比較】



資料: H27-30 ITARDAデータ
対象区間: 北34条交差点～北3条交差点

【事故の種類】



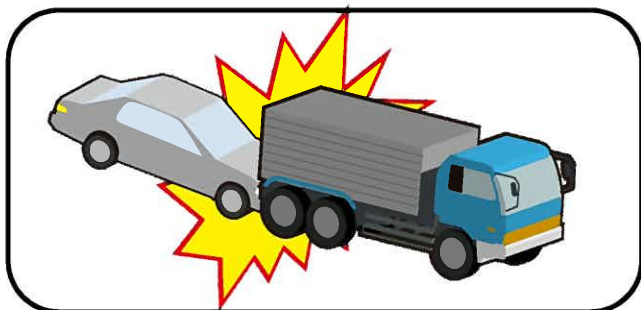
資料: H27-30 ITARDAデータ
対象区間: 北34条交差点～北3条交差点

※死傷事故率: 1億台の車が1km走る際に発生する事故の件数

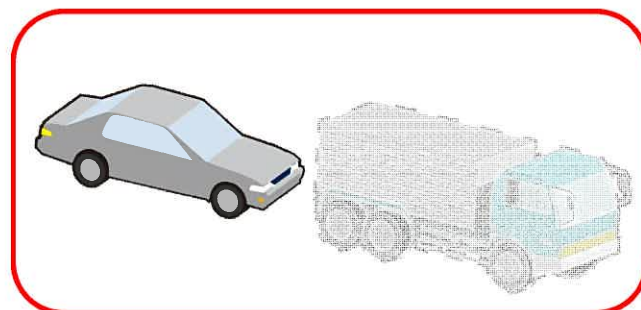
期待される効果 《交通事故》

- 創成川通の地下トンネル整備により、創成川通(地上部)の混雑が解消され、追突事故の減少が期待されます。

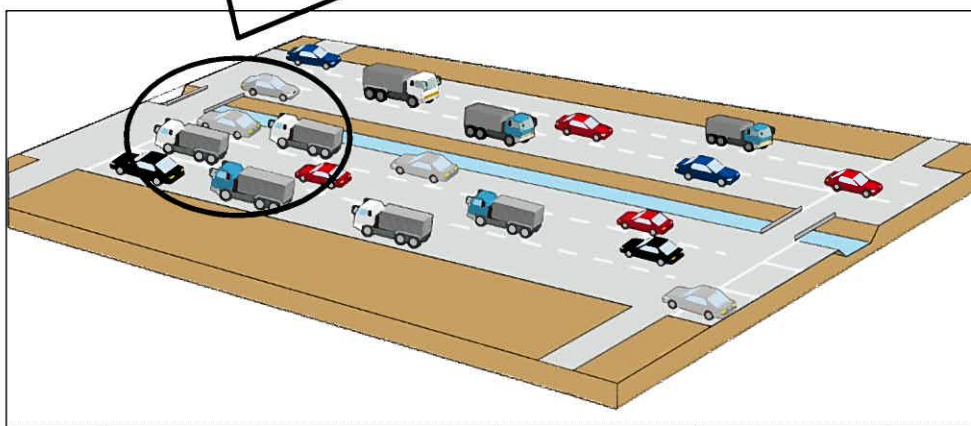
整備前:現況



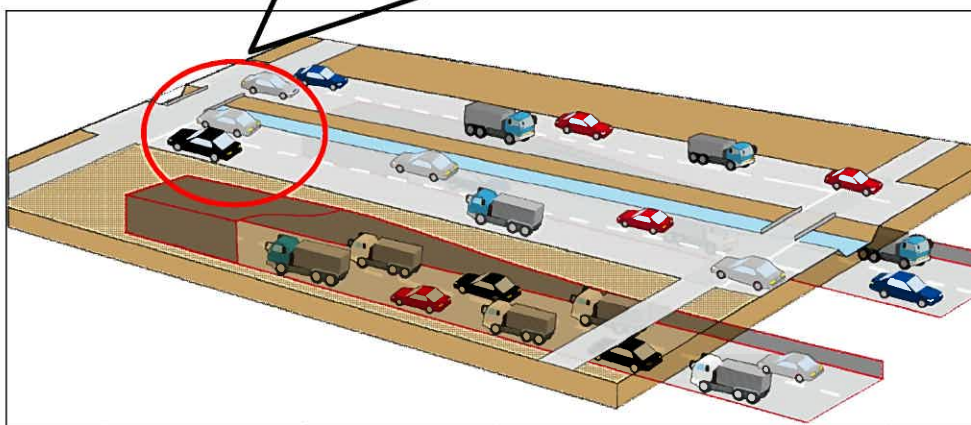
整備後:将来



混雑により追突事故多発！



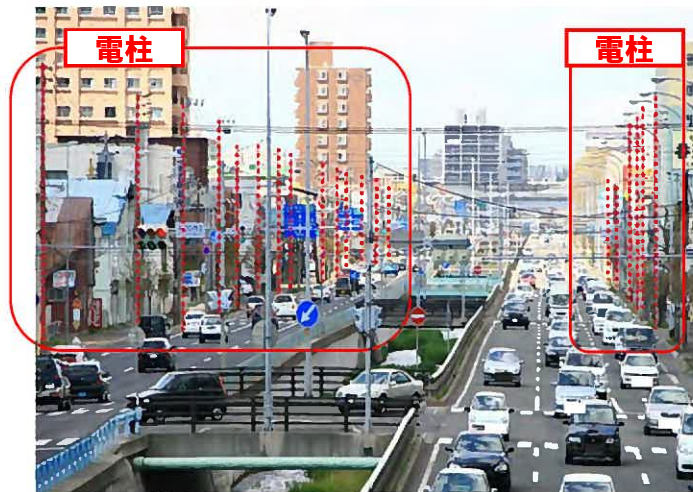
混雑緩和により追突事故減少！



現状の課題 《災害》

- 創成川通は、道路の両側に電柱が立っており、倒壊等のリスクを抱えています。

【創成川通の現状】



【災害による電柱の倒壊事例】



【台風の影響で道をふさぐ電柱(沖縄県)】



【地震により倒壊した電柱(兵庫県)】



【台風の影響で電柱が倒壊(札幌市、国道275号)】

期待される効果 《災害》

- 創成川通の地下トンネル整備にあわせて、創成川通(地上部)の無電柱化を推進します。

【無電柱化の整備イメージ】



整備前
(札幌市 国道12号)



整備後
(札幌市 国道12号)

期待される効果 《歩道環境》

- 創成川通の地下トンネル整備にあわせて、創成川通(地上部)のすれ違いが困難な狭い歩道を拡幅します。
- また、無電柱化により、歩道部の電柱がなくなります。

【現在の歩道の状況】



北10条付近

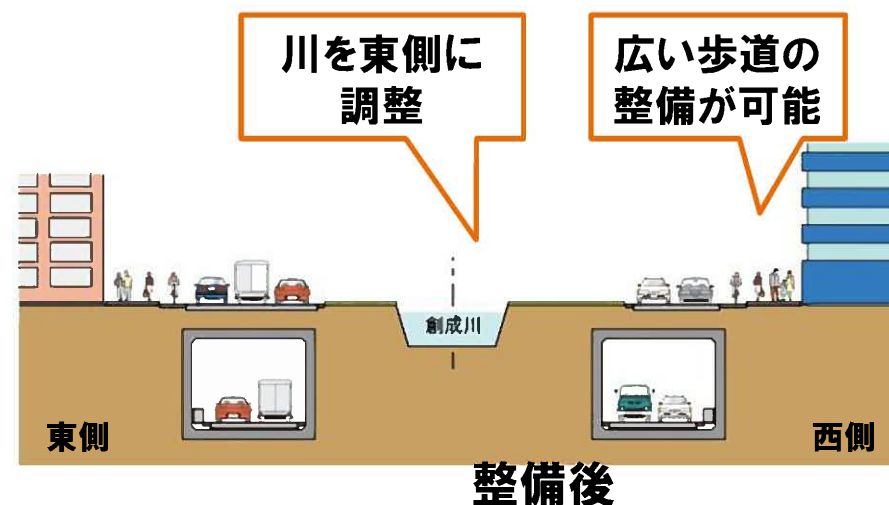
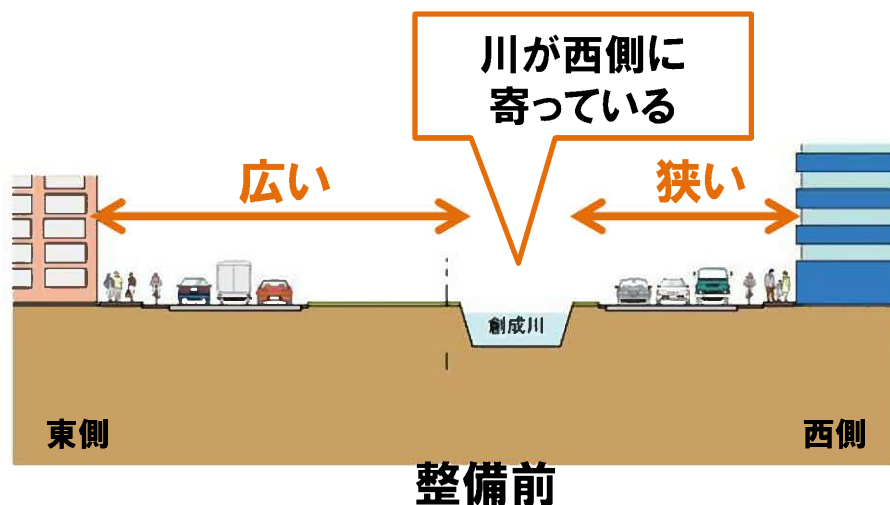


北11条付近



北12条付近

【歩道の整備イメージ】



期待される効果 《地上部の活用》

- 創成川通の地下トンネル整備にあわせて、札幌市と連携し、創成川通(地上部)の空間について、公園化や植栽緑化の検討を進めます。

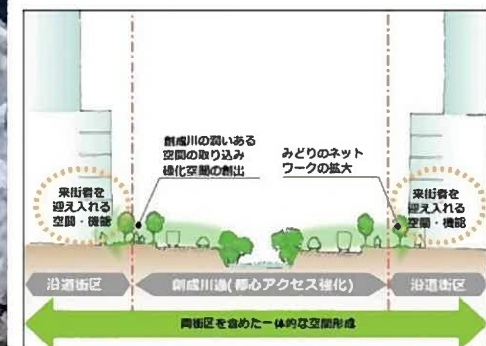
親水緑地空間の整備事例 創成川公園



親水空間整備



創成川通沿道の空間形成イメージ



札幌駅交流拠点まちづくり計画より(H30.9)

- 道路区分

第4種第1級

- 設計速度

60km/h

- 車線数

2～4車線

- 道路幅員(地下部)

2方向2車線区間～W=11.0m

左側路肩W=1.50m×2+車線W=3.25m×2+右側路肩W=0.75m×2

2方向3車線区間～W=13.0m

左側路肩W=0.50m, 1.50m+車線W=3.25m×3+右側路肩W=0.50m, 0.75m

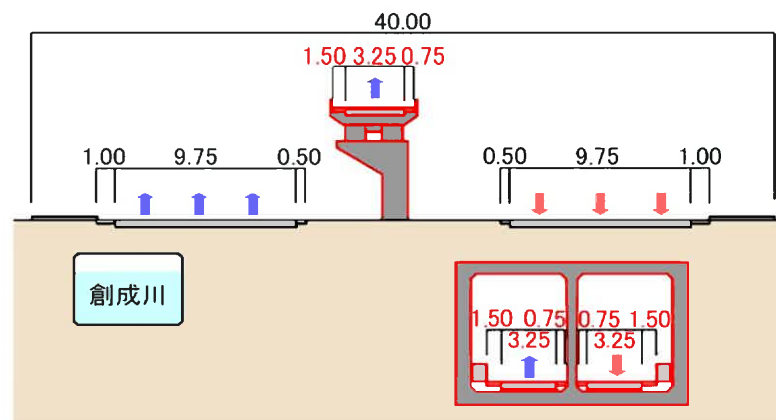
2方向4車線区間～W=15.0m

左側路肩W=0.50m×2+車線W=3.25m×4+右側路肩W=0.50m×2

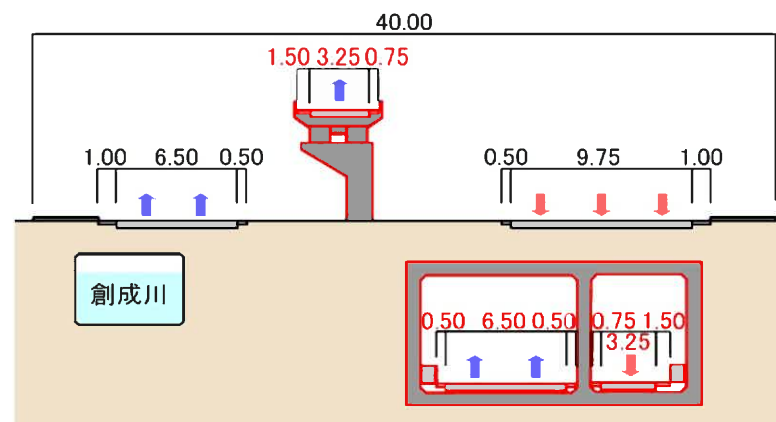
道路の構造

標準断面図

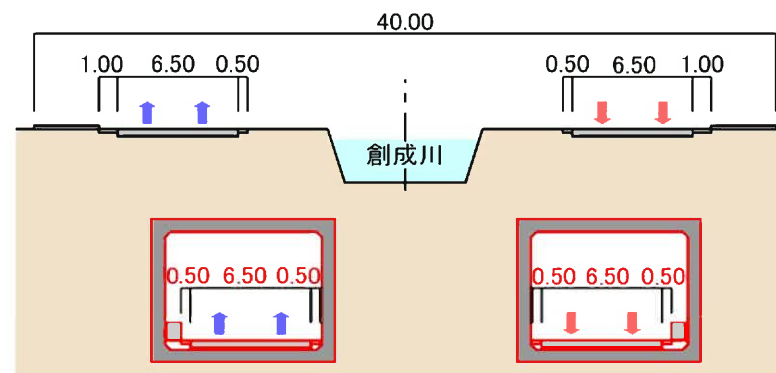
2 方 向
2車線区間



2 方 向
3車線区間

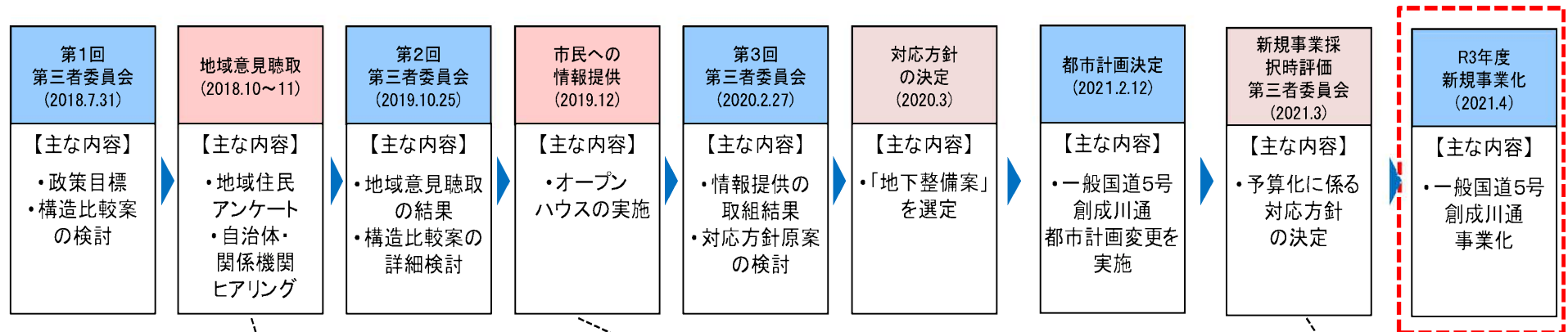


2 方 向
4車線区間



2. 新規事業化までの経緯について

これまでの経緯



【地域意見聴取】



アンケート調査票



ヒアリング調査



観光面談調査

- ・住民・道路利用者アンケート調査、観光客面談アンケート調査（合計11,980票※）
 - ・自治体・関係団体ヒアリング調査 など
- ※1：留置き、Web、観光面談の回答を含む

【市民への情報提供】



札幌駅前通地下歩行空間



北区民センター



札幌市役所ロビー



東区民センター

- ・市内4会場で、来場者は1,670名、うち739名から意見や質問が寄せられた

【第三者委員会】



『社会資本整備審議会 道路分科会
北海道地方小委員会』

直轄事業の事業評価など地方における道路事業の効率的な実施に関し、意見を聴取すること等を目的として設置。

〔主な議題等〕

- ①計画段階評価②**新規事業採択時評価**③地方における道路事業の効率的な実施についての意見聴取

これまでの経緯

■オープンハウス

創成川通沿線等の市内4会場で開催、来場者1,670名、うち739名から意見や質問等が寄せられた

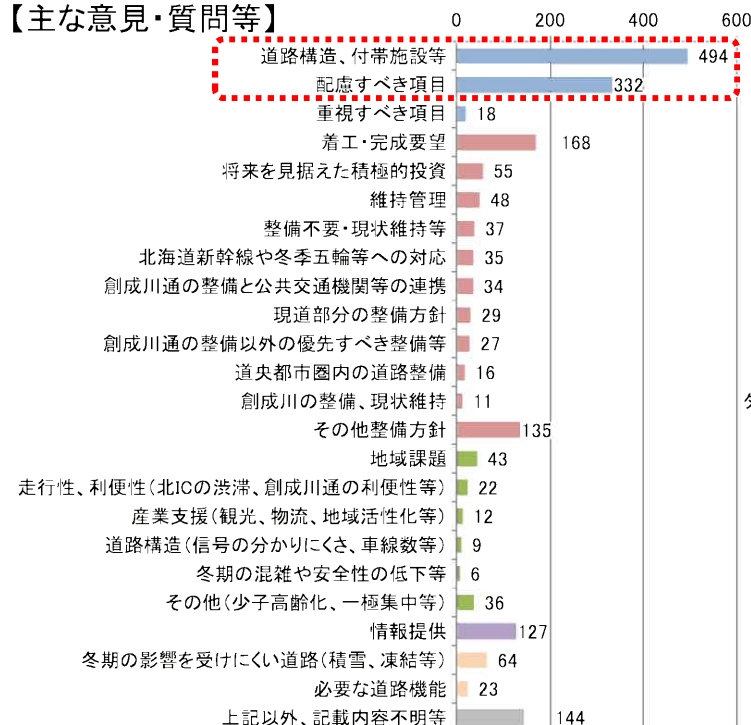
【実施概要】

会場	日時	来場者数	対応者数
札幌駅前通 地下歩行空間	令和元年12月6日(金)～9日(月) 10:00～19:00	1,259名	518名
東区民センター	令和元年12月7日(土)～8日(日) 10:00～19:00	78名	49名
札幌市役所	令和元年12月10日(火)～12日(木) 10:00～17:00	211名	86名
北区民センター	令和元年12月13日(金)～14日(土) 10:00～19:00	122名	86名
合計		1,670名	739名

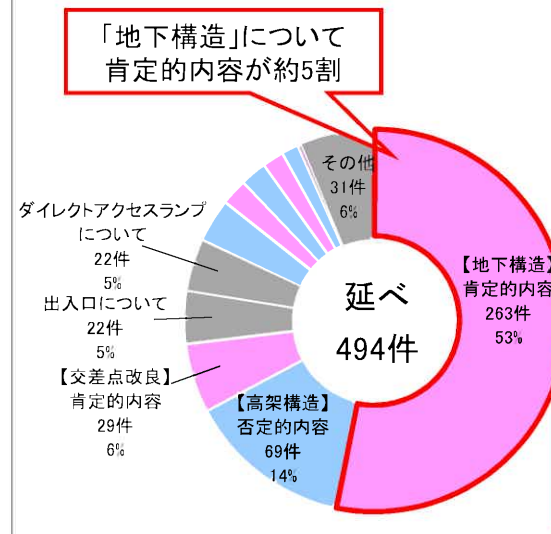
【展示パネル(抜粋)】



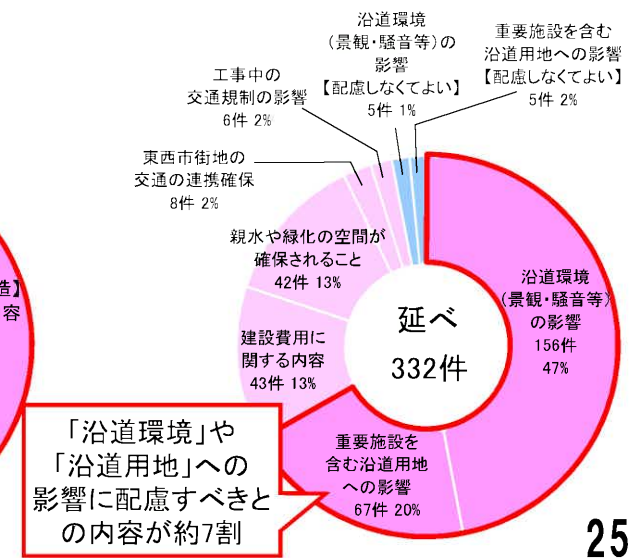
【主な意見・質問等】



【道路構造、付帯施設等 における具体的な意見】



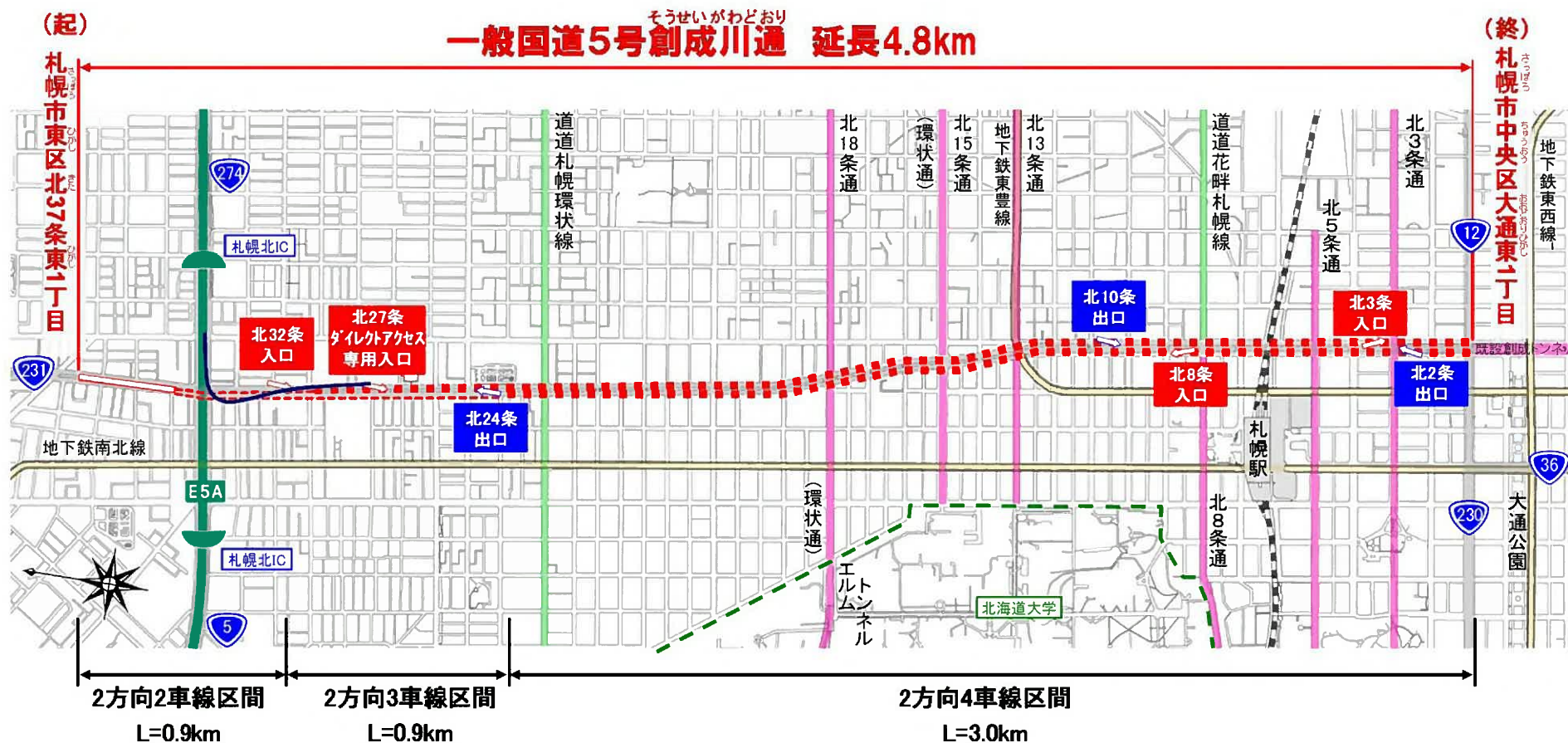
【配慮すべき項目における具体的な意見】



3. 事業の内容について

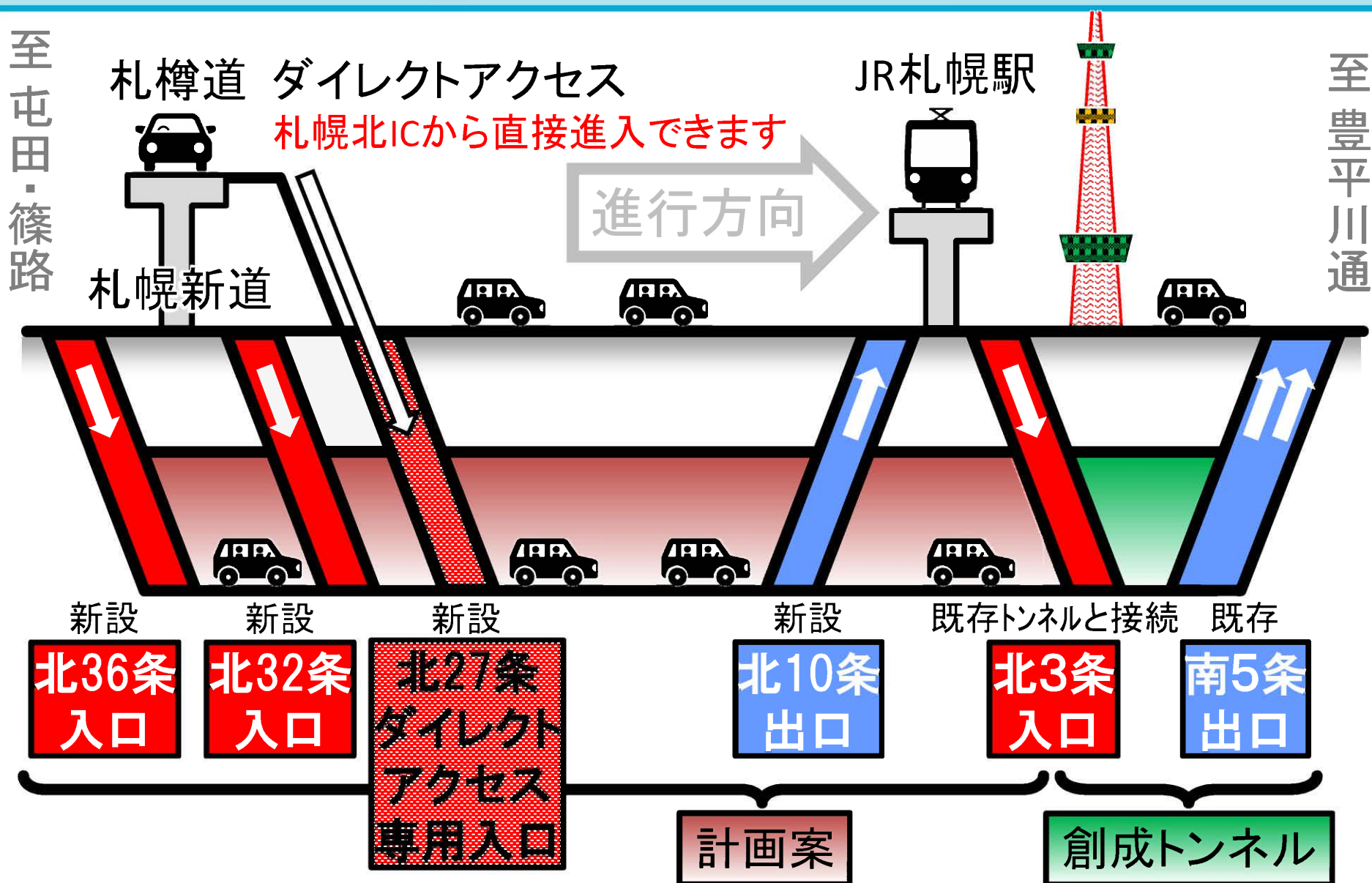
ルートの概要について

一般国道5号 創成川通 位置図



※ルートは概ねの位置を示したものであり、今後の現地調査により変更する場合があります。

ルートの概要について

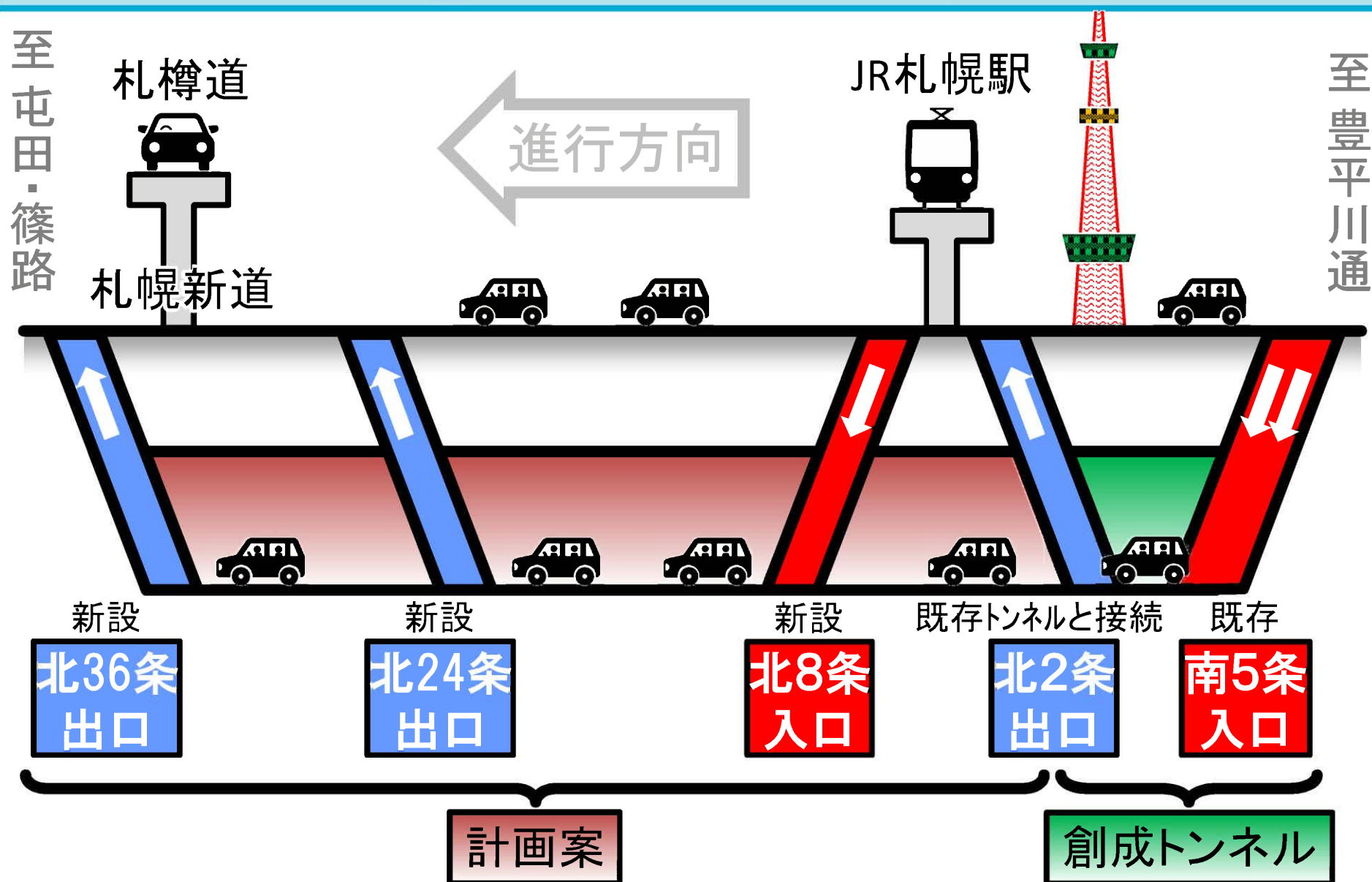


注1: 出入口の「条」表示は、トンネルスロープを設置する箇所の主な住所を示したものであり、接続先の道路名称を示すものではありません。

注2: 出入口の矢印の数は車線数を表す。

注3: 図は整備のイメージを分かりやすく表現したものであり、実際の整備時とは異なる場合があります。

ルートの概要について



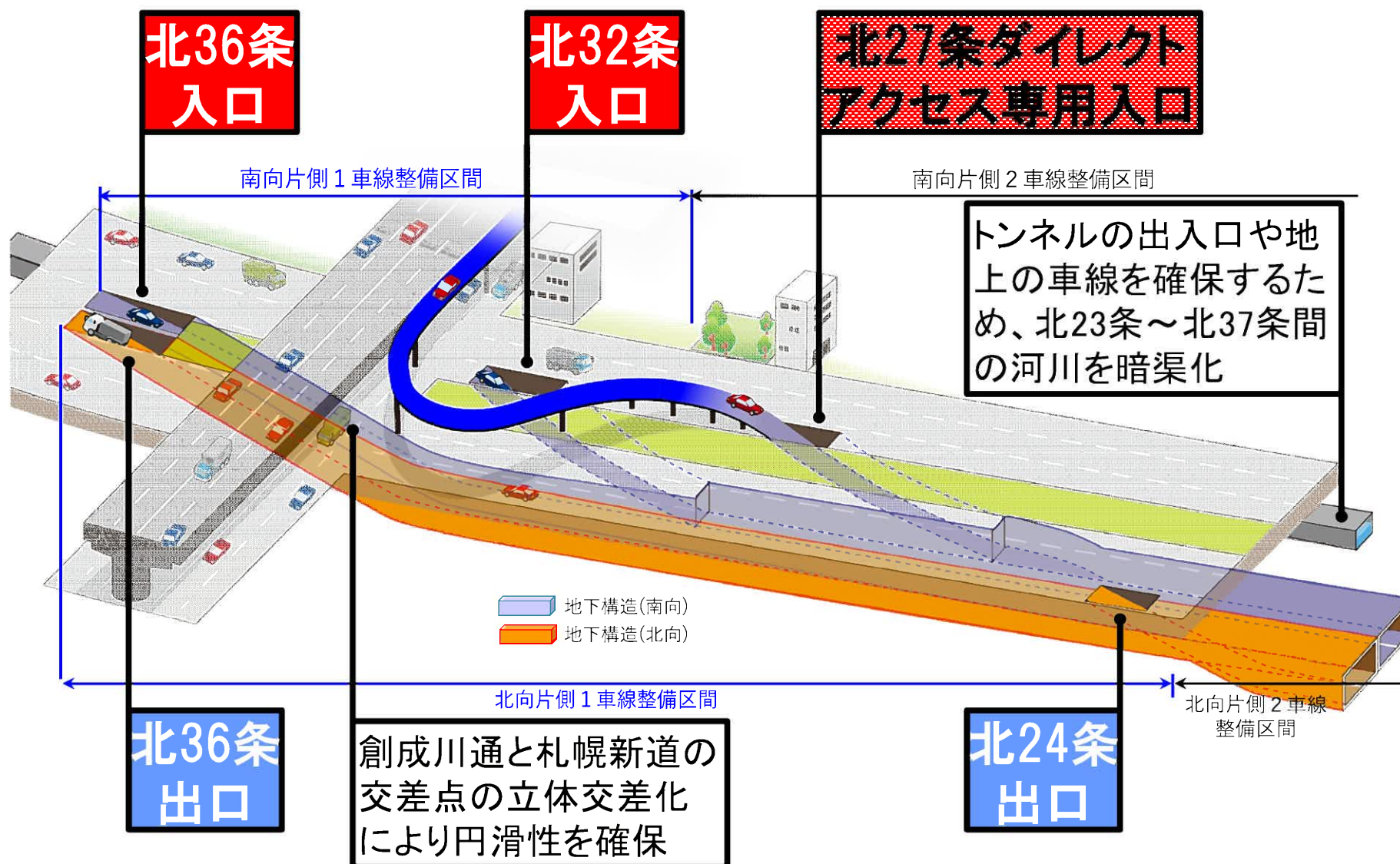
注1: 出入口の「条」表示は、トンネルスロープを設置する箇所の主な住所を示したものであり、接続先の道路名称を示すものではありません。

注2: 出入口の矢印の数は車線数を表す。

注3: 図は整備のイメージを分かりやすく表現したものであり、実際の整備時とは異なる場合があります。

ルートの概要について

■ 札幌新道交差点付近イメージ図



注1: 出入口の「条」表示は、トンネルスロープを設置する箇所の主な住所を示したものであり、整備後の出入口の名称を示すものではありません。

注2: 図は整備のイメージを分かりやすく表現したものであり、実際の整備時とは異なる場合があります。

ルートの概要について

■ 札幌北IC出口ダイレクトアクセス



画像出典: Google Earth

注: 図は整備のイメージを分かりやすく表現したものであり、実際の整備時とは異なる場合があります。

ルートの概要について

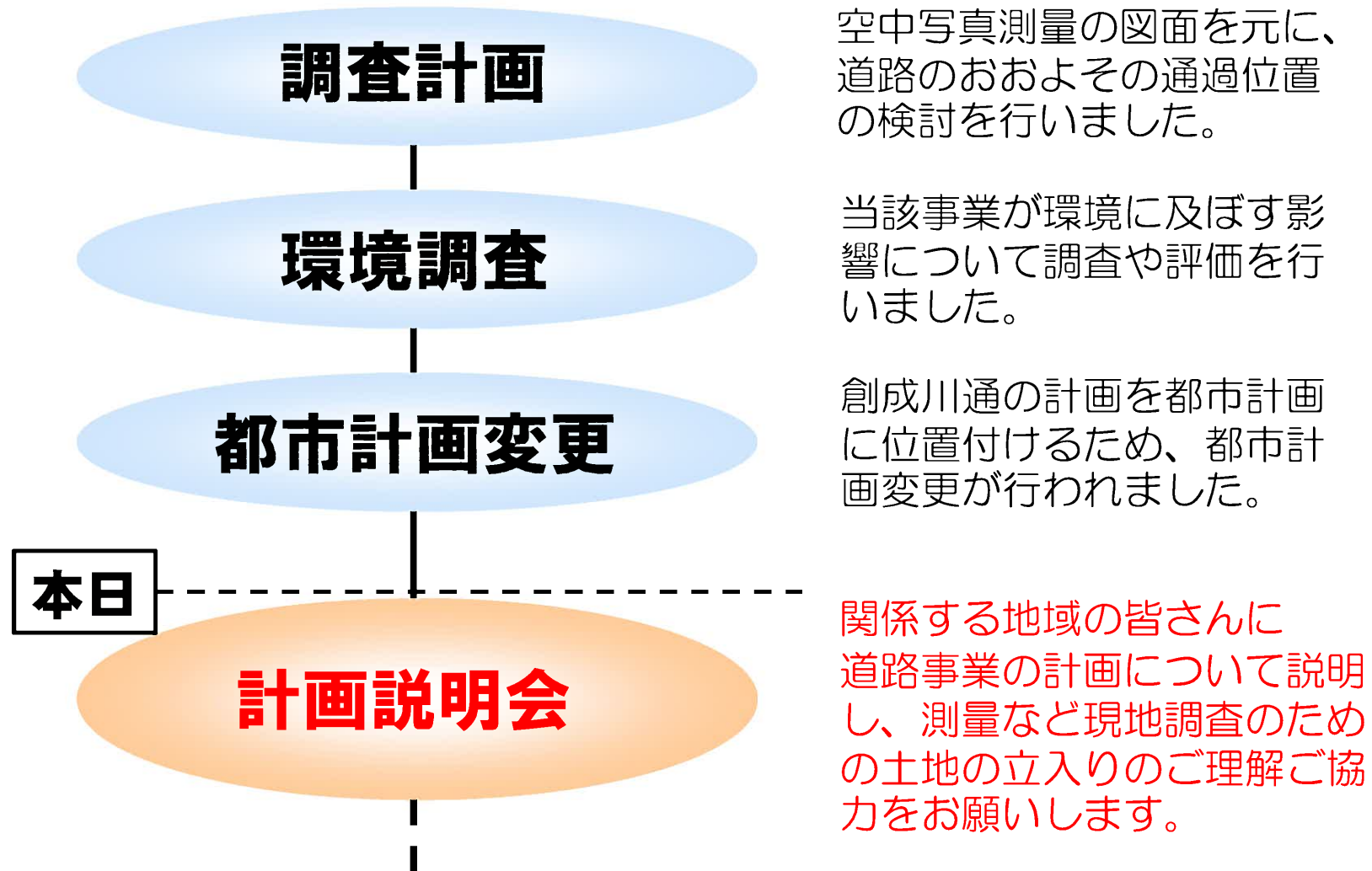
■ 地下⇒地上への出入口の形状・位置

トンネルの右側に1車線の出口がある事例



4. 事業の流れについて

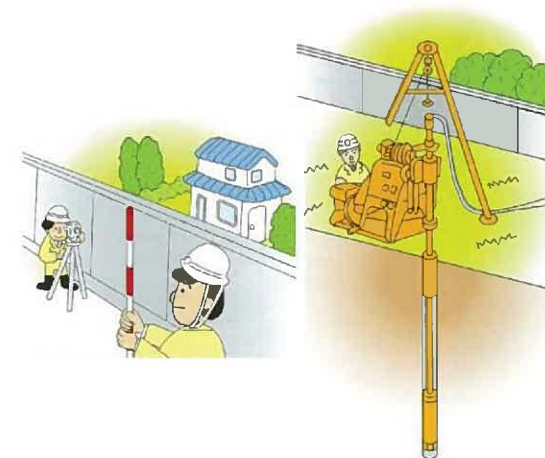
ルートを選択



詳細な設計

測量・調査

詳細な設計に向けて、
現地の測量や調査を行います。



協議・設計

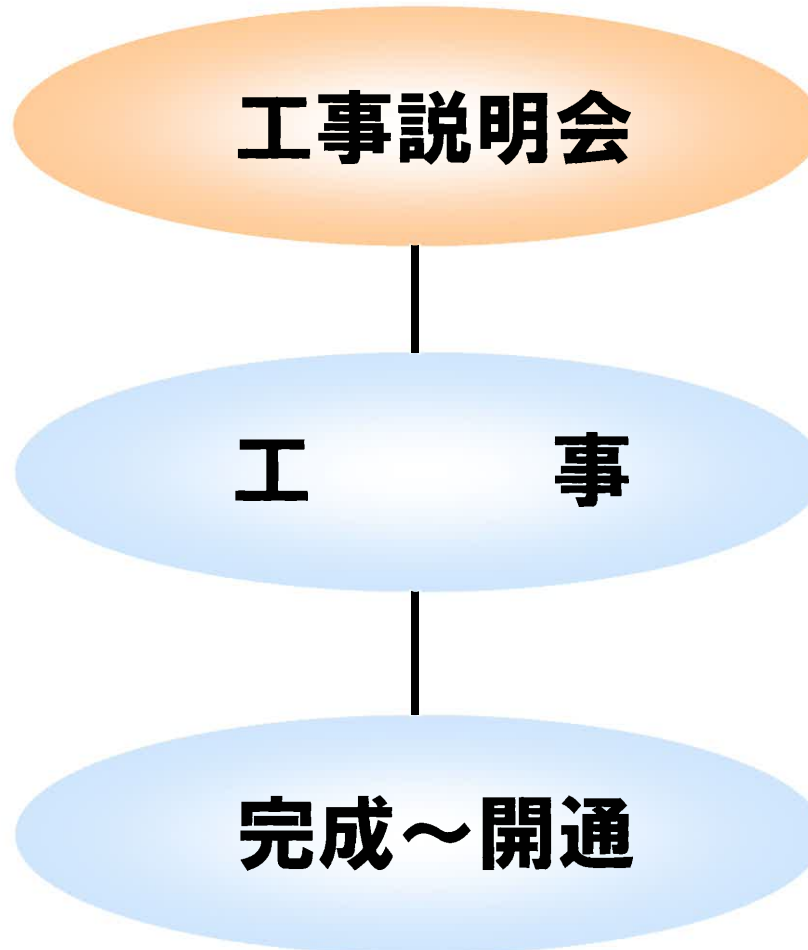
詳細な設計を行い、
道路の構造を決定します。
また、各関係機関
と具体的に協議します。



事業説明会

関係する地域の皆さんに詳細設計の内容を説明します。工事実施に向けてのご理解ご協力をお願いします。

着工～開通



関係する地域の皆さんに
工事内容について説明
します。

沿道の環境等に配慮しながら
工事を進めます。

早期の開通を目指し、
鋭意努力していきます。

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

住所：〒060-8506 札幌市中央区北2条西19丁目

◆ 創成川通の事業に関すること

都心アクセス道路整備室

電話（専用ダイヤル）：011-611-0223

◆ 創成川通の測量・調査に関すること

＜令和3年度 担当測量会社＞

明成コンサルタント株式会社

電話：011-875-3431

調査区間

北41条付近～北21条付近

建基コンサルタント株式会社

電話：011-736-6355

北20条付近～南大通付近

＜令和3年度 担当地質調査会社＞

トキワ地研株式会社

電話：011-751-4841

北35条西2丁目付近～北27条西2丁目付近

株式会社エーティック

電話：011-644-2803

北33条東1丁目付近～北33条西1丁目付近

札幌市役所

住所：〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

◆ 札幌市の都市計画に関すること

札幌市 まちづくり政策局 総合交通計画部

電話：011-211-2275

土地への立ち入り調査、および測量など現地調査の実施にあたり、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。